

人と緑が響き合う 美しい環境を、明日へ。

企業として社会的責任を果たす上で最も基本的な活動が「環境保全活動」です。社員一人ひとりの自発的な行動やお客さま、地域のみなさまとの協力で循環型社会の構築をめざしていきます。



緑豊かな癒やしの空間をめざす「LECT」

1 設備を刷新する

設備の工夫で環境負荷低減

イズミでは、新店オープン時やリニューアル時に、消費電力を削減する設備の導入を進めています。設備面を工夫するメリットは、お客さまに「暗い」「暑い」「寒い」といったご不便を感じさせることなく、従業員も普段通りの業務をしながら、省エネを推進できることにあります。

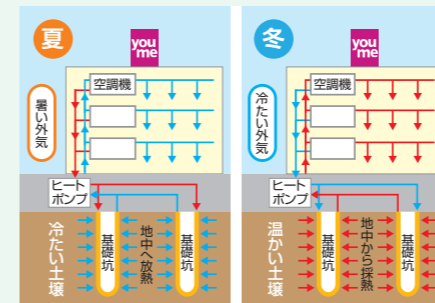
「ゆめタウン廿日市」では、年間のエネルギー使用量を限りなくゼロに近づける活動を実践。使用量のデータを集め、効率よくエネルギーを消費・使用量削減するシステム「BEMS」も導入しています。店舗でノウハウを蓄積し、さらに効果的な省エネが行えるよう、取り組んでいます。

太陽光発電 「ゆめタウン廿日市」に

2015年にオープンした「ゆめタウン廿日市」は、「ゆめタウン」初の試みとして、屋上で太陽光発電を行っています。350kW発電パネルを約2,900㎡の規模で設置することで、小型のスーパーマーケット1店舗分に相当する電気の発電が可能になりました。太陽光という自然エネルギーを有効活用し、二酸化炭素の排出量削減に貢献しています。



屋上に発電パネルを設置



地中熱ヒートポンプの仕組み



特別感謝状をいただきました

地中熱を生かした省エネ空調

地中熱ヒートポンプは、外気温と比べて室内との温度差が小さい地中熱を利用し、空調にかかるエネルギーを削減するシステムです。「ゆめタウン廿日市」では空調使用率が高いエントランスに導入しています。2016年には環境保全に貢献したとして「一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター」から特別感謝状を贈られました。

LEDや有機EL照明導入

消費電力の少ないLED照明を導入し、さらに時間帯ごとに店内照度を自動制御するスケジュール調光システムを用いて、消費電力を抑制しています。また、次世代の照明として期待される有機EL照明を「ゆめタウン廿日市」で試験採用しています。



授乳室に設置した有機EL照明

環境にやさしいイズミ本社

イズミ本社ビルの屋上には、太陽光発電パネルの設置に加えて緑化を行い、建物の熱負荷軽減に寄与。ビル中央部の開放的な吹き抜けは、自然換気を行い空調の運転を減らす役割を担うなど、館内各所で環境への配慮を実施しています。



緑化を行った本社ビル屋上